

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)

【公表番号】特表 2002-521925 (P2002-521925A)

【公表日】平成 14 年 7 月 16 日 (2002.7.16)

【出願番号】特願 2000-561767 (P2000-561767)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/44 (2006.01)

H 0 4 H 1/00 (2006.01)

H 0 4 H 1/02 (2006.01)

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

H 0 4 Q 9/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/44 A

H 0 4 N 5/44 Z

H 0 4 H 1/00 A

H 0 4 H 1/02 F

H 0 4 M 11/00 3 0 1

H 0 4 N 7/173 6 4 0 Z

H 0 4 Q 9/00 3 0 1 E

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザテレビジョン機器に実装された協働対話式テレビジョンアプリケーションによってユーザに対して対話式テレビジョンアプリケーション情報が表示されるシステムであって、該システムは、

該協働対話式テレビジョンアプリケーションが実装されている該ユーザテレビジョン機器に含まれる複数のユーザテレビジョン機器装置と、

該複数のユーザテレビジョン機器装置のうちの 1 つを該複数のユーザテレビジョン機器装置のうちの他の 1 つに接続することにより、該 2 つの装置間の通信をサポートする通信経路と、

該ユーザテレビジョン機器における該複数のユーザテレビジョン機器装置の間で該協働対話式テレビジョンアプリケーションに対する複数のシステム機能を区分する手段とを含み、

該複数のシステム機能を区分する手段は、

各システム機能を実行するために最適なユーザテレビジョン機器装置を決定する手段と

2 つ以上のユーザテレビジョン機器装置が同一のシステム機能を実行することを防止することにより、該協働対話式テレビジョンアプリケーションに対して、複数のユーザテレビジョン機器装置が同一のシステム機能を同時に実行することによって生じ得る競合を回避する手段と

を含む、システム。

【請求項 2】 前記協働対話式テレビジョンアプリケーションを用いて前記複数のユーザテレビジョン機器装置（60）をプログラムする手段をさらに含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】 前記複数のユーザテレビジョン機器装置（60）は、複数のリソースを有しており、

前記システムは、該システムにおける該複数のユーザテレビジョン機器装置（60）のうちの他の 1 つの複数のリソースによって実行され得る複数の機能を実行することを担当する複数のリソースなしで、該複数のユーザテレビジョン機器装置（60）のうちの 1 つを製造する手段をさらに含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】 前記最適なユーザテレビジョン機器装置を決定する手段は、

前記協働対話式テレビジョンアプリケーションが実行されているユーザテレビジョン機器装置のタイプと、各ユーザテレビジョン機器装置の能力と、前記システムに存在する他のユーザテレビジョン機器装置のタイプとから構成されるグループから選択される 1 つ以上のシステム変数を決定する手段を含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】 前記協働対話式テレビアプリケーションの第 1 の部分は、前記複数のユーザテレビジョン機器装置（60）のうちの第 1 のユーザテレビジョン機器装置に実装され、該協働対話式テレビアプリケーションの第 2 の部分は、該複数のユーザテレビジョン機器装置（60）のうちの第 2 のユーザテレビジョン機器装置（60）に実装され、

前記システムは、

該第 1 および第 2 の部分が独立的または協働的に実行しているかを決定する手段と、

該決定する手段によって行なわれた決定に応答して、該第 1 および第 2 のユーザテレビジョン機器装置（60）上で該第 1 および第 2 の部分を独立的または協働的に実行する手段と

をさらに含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】 前記複数のユーザテレビジョン機器装置（60）の間でデータおよびコマンドをルーティングする手段をさらに含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】 前記区分する手段によって前記複数のユーザテレビジョン機器装置（60）の間で区分された前記複数のシステム機能は、

ユーザインターフェース制御と、細流データ供給の収集と、帯域内データの収集と、データ格納と、データ要求と、表示制御と、チューナ制御と、二次格納の制御と、インターネットアクセスと、画面内画面の生成と、デジタル復号化とから構成されるグループから選択される 1 つ以上のシステム機能である、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 8】 前記複数のユーザテレビジョン機器装置（60）は、複数のリソースを含み、

前記システムは、前記区分する手段によって該複数のユーザテレビジョン機器装置（60）のうちの他の少なくとも 1 つに区分されている複数のシステム機能を実行することを該ユーザテレビジョン機器装置（60）の複数のリソースが担当するとき、該複数のユーザテレビジョン機器装置（60）のうちの 1 つにおける複数のリソースを使用禁止にする手段をさらに含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 9】 前記協働対話式テレビジョンアプリケーションを用いてプログラムされた前記複数のユーザテレビジョン機器装置（60）の間で複数のシステム機能を実行するために、マスター/スレーブ役割を区分する手段をさらに含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 10】 前記協働対話式テレビジョンアプリケーションが実装された前記複数のユーザテレビジョン機器装置（60）のうちの 1 つは、セットトップボックスである、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 11】 前記協働対話式テレビジョンアプリケーションが実装された前記複数のユーザテレビジョン機器装置（60）のうちの 1 つは、デジタルテレビジョン受信器である、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 12】 前記協働対話式テレビジョンアプリケーションが実装された前記複

数のユーザテレビジョン機器装置（６０）のうちの１つは、テレビジョンである、請求項１に記載のシステム。

【請求項１３】 前記協働対話式テレビジョンアプリケーションは、協働対話式テレビジョン番組ガイドアプリケーションである、請求項１に記載のシステム。

【請求項１４】 前記協働対話式テレビジョンアプリケーションは、協働インターネットブラウザである、請求項１に記載のシステム。

【請求項１５】 前記協働対話式テレビジョンアプリケーションは、協働ホームショッピングアプリケーションである、請求項１に記載のシステム。

【請求項１６】 ユーザテレビジョン機器に実装された協働対話式テレビジョンアプリケーションによってユーザに対して対話式テレビジョンアプリケーション情報を表示する方法であって、該方法は、

該協働対話式テレビジョンアプリケーションを用いて、複数のリソースを有する複数のユーザテレビジョン機器装置をプログラムするステップと、

該複数のユーザテレビジョン機器装置のうちの１つを該複数のユーザテレビジョン機器装置のうちの他の１つに接続することにより、該２つの装置間の通信をサポートするステップと、

該ユーザテレビジョン機器の該複数のユーザテレビジョン機器装置の間で該協働対話式テレビジョンアプリケーションに対する複数のシステム機能を区分するステップと

を含み、

該複数のシステム機能を区分するステップは、

各システム機能を実行するために最適なユーザテレビジョン機器装置を決定するステップと、

２つ以上のユーザテレビジョン機器装置が同一のシステム機能を実行することを防止することにより、該協働対話式テレビジョンアプリケーションに対して、複数のユーザテレビジョン機器装置が同一のシステム機能を同時に実行することによって生じ得る競合を回避するステップと

を含む、方法。

【請求項１７】 前記システムにおける前記複数のユーザテレビジョン機器装置（６０）のうちの他の１つによって実行され得る特徴を該複数のユーザテレビジョン機器装置（６０）から除去するステップをさらに含む、請求項１６に記載の方法。

【請求項１８】 前記最適なユーザテレビジョン機器装置を決定するステップは、前記協働対話式テレビジョンアプリケーションが実行されているユーザテレビジョン機器装置のタイプと、各ユーザテレビジョン機器装置の能力と、前記システムに存在する他のユーザテレビジョン機器装置のタイプとから構成されるグループから選択される１つ以上のシステム変数を決定するステップを含む、請求項１６に記載の方法。

【請求項１９】 前記複数のユーザテレビジョン機器装置（６０）のうちの第１のユーザテレビジョン機器装置に実装されている前記協働対話式テレビジョンアプリケーションの第１の部分と、該複数のユーザテレビジョン機器装置（６０）のうちの第２のユーザテレビジョン機器装置に実装されている該協働対話式テレビジョンアプリケーションの第２の部分とが、独立的または協働的に実行しているかを決定するステップと、

該決定に応答して、該第１および第２の部分を独立的または協働的に実行するステップと

をさらに含む、請求項１６に記載の方法。

【請求項２０】 前記複数のユーザテレビジョン機器装置の間でデータおよびコマンドをルーティングするステップをさらに含み、所与のシステム機能に関係するデータおよびコマンドは、該所与のシステム機能を実行するように割り当てられた該ユーザテレビジョン機器装置にルーティングされる、請求項１６に記載の方法。

【請求項２１】 前記複数のユーザテレビジョン機器装置（６０）の間で区分された前記複数のシステム機能は、

ユーザインターフェース制御と、細流データ供給の収集と、帯域内データの収集と、デ

ータ格納と、データ要求と、表示制御と、チューナ制御と、二次格納の制御と、インターネットアクセスと、画面内画面の生成と、デジタル復号化とから構成されるグループから選択される１つ以上のシステム機能である、請求項１６に記載の方法。

【請求項２２】 前記複数のユーザテレビジョン機器装置（６０）のうちの他の少なくとも１つに区分されている複数のシステム機能を実行することを該ユーザテレビジョン機器装置（６０）の複数のリソースが担当するとき、該複数のリソースなしで該複数のユーザテレビジョン機器装置（６０）のうちの１つを製造するステップをさらに含む、請求項１６に記載の方法。

【請求項２３】 前記協働対話式テレビジョンアプリケーションを用いてプログラムされた前記複数のユーザテレビジョン機器装置（６０）の間で複数のシステム機能を実行するために、マスター／スレーブ役割を区分するステップをさらに含む、請求項１６に記載の方法。

【請求項２４】 前記協働対話式テレビジョンアプリケーションを用いて複数のユーザテレビジョン機器装置（６０）をプログラムするステップは、該協働対話式テレビジョンアプリケーションを用いてセットトップボックスをプログラムするステップを含む、請求項１６に記載の方法。

【請求項２５】 前記協働対話式テレビジョンアプリケーションを用いて複数のユーザテレビジョン機器装置（６０）をプログラムするステップは、該協働対話式テレビジョンアプリケーションを用いてデジタルテレビジョン受信器をプログラムするステップを含む、請求項１６に記載の方法。

【請求項２６】 前記協働対話式テレビジョンアプリケーションを用いて複数のユーザテレビジョン機器装置（６０）をプログラムするステップは、該協働対話式テレビジョンアプリケーションを用いてテレビジョンをプログラムするステップを含む、請求項１６に記載の方法。

【請求項２７】 前記協働対話式テレビジョンアプリケーションを用いて複数のユーザテレビジョン機器装置（６０）をプログラムするステップは、協働対話式テレビジョン番組ガイドアプリケーションを用いて該複数のユーザテレビジョン機器装置（６０）をプログラムするステップを含む、請求項１６に記載の方法。

【請求項２８】 前記協働対話式テレビジョンアプリケーションを用いて複数のユーザテレビジョン機器装置（６０）をプログラムするステップは、協働対話式インターネットブラウザを用いて該複数のユーザテレビジョン機器装置（６０）をプログラムするステップを含む、請求項１６に記載の方法。

【請求項２９】 前記協働対話式テレビジョンアプリケーションを用いて複数のユーザテレビジョン機器装置（６０）をプログラムするステップは、協働ホームショッピングアプリケーションを用いて該複数のユーザテレビジョン機器装置（６０）をプログラムするステップを含む、請求項１６に記載の方法。